

公表：令和 6 年 3 月 28 日

事業所名 ぽかぽかキッズ・ステーション

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童発達支援を含め定員10名であっても、基準(2.47㎡/人)を上回る2.98㎡/人の広さを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員は専門職に加え、保育士を加配することで基準以上配置しております。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内はバリアフリー(機械浴・トイレ等)の環境を整えております。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			半年に一度、全職員を対象に面談を行い、目標設定と振り返りを予定しております。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方にも評価を行っていただき、事業所内で共有いたしました。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			放課後等デイサービスは令和4年度6月開所のため、初の自己評価となります。ブログにて公開いたします。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		理事会や運営会議等により、事業所外の評価を定期的に受けております。	外部機関による第三者評価は、コスト面をクリアすれば実施を検討いたします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			適宜、勉強会の開催や外部研修へ参加し、その報告書や資料を職員が常時閲覧可能な体制を整えております。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に一度、個別面談・ケース会議を行い支援計画を作成しております。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		事業所で作成したアセスメントツールを使用しております。	標準化されたアセスメントツールを駆使すべく、勉強会等で知識を深めてまいります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			製作や季節の行事等、複数の職員で案を出しております。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事等を取り入れ、固定化しないよう、職員間で	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間に応じて、ケア内容や実施時間、活動、休息等を計画し実施しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○			状況に応じて対応出来るように作成しております。

関係機関や保護者との連携	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に口頭にて確認を行い、ホワイトボードなどで再確認できるような環境を整えております。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後に口頭にて共有を行い、不在の職員にはその記録の閲覧により共有を行っております。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日お子様一人ひとりの記録をとり、振り返り等に用いております。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度の定期面談だけでなく、連絡ノート、電話、メール等で相談・助言等を行っております。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			主に、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供を組み合わせ、支援を行っております。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者に加えてお子様の状況に精通した者が参加しております。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			児童発達支援管理責任者と保護者で情報共有・調整を行っております。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医による指示書や協力医療機関に相談・報告、緊急時の対応をお願いしております。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		他事業所や相談支援専門員からの情報を得て、理解に努めております。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、対象となるお子様がおりません。	保護者の要望に沿って、支援内容等共有を行ってまいります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		お子様の併用されている事業所との連携や、スキルアップ研修に参加しております。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		交流の機会を設けられていないため、今後の検討課題とさせていただきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			飯能市障害児支援部会へ積極的に参加しております。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや送迎時の面会等を通じて、相互に情報を共有できるよう努めております。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		保護者の課題であることに対して、状況に応じたアドバイスを行っております。	ペアレント・トレーニングの実施を検討すると共に、適切なアドバイス等が行えるよう職員のスキルアップを進めてまいります。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や相談があった際、丁寧に説明するよう心がけております。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			半年に一度の定期面談だけでなく、連絡ノート、電話、メール等で相談・助言等を行っております。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		交流の機会を設けられていないため、今後の検討課題とさせていただきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情についてはその都度対応し、送迎時や電話でも対応させていただいております。また、苦情・相談があった場合は、迅速に対応出来るように心掛けております。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年に数回『ほかほかだより』を発行し、活動概要や行事予定等を発信しております。また、SNSにて施設内の活動等の発信を行っております。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は保護者の同意のもと、適切に管理、使用しております。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がいの特性に合わせたコミュニケーション(視覚支援等)に対応しています。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	法人としては地域貢献を目標に掲げ、尽力しております。	地域貢献を含めたイベントを検討してまいります。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に各マニュアルの説明を行っております。ご相談があれば、都度ご確認いただける用意がございます。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	年2回の避難訓練を実施しております。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修に参加し、報告書の閲覧、勉強会での情報共有を行っております。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	現在、対象となるお子様がおりません。	身体拘束が必要なお子様が利用する場合は、保護者の同意のもと、支援計画に明記し、実施いたします。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	○			現在、対象となるお子様がおりません。	基本的に食事・水分の提供はお持ちいただいた物に限っていますが、必要な場合は医師の指示に基づいて提供いたします。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			積極的にヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有すると共に再発防止を協議しております。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。